

日本近代文学館
2017年度
夏季企画展

6
(土) 24

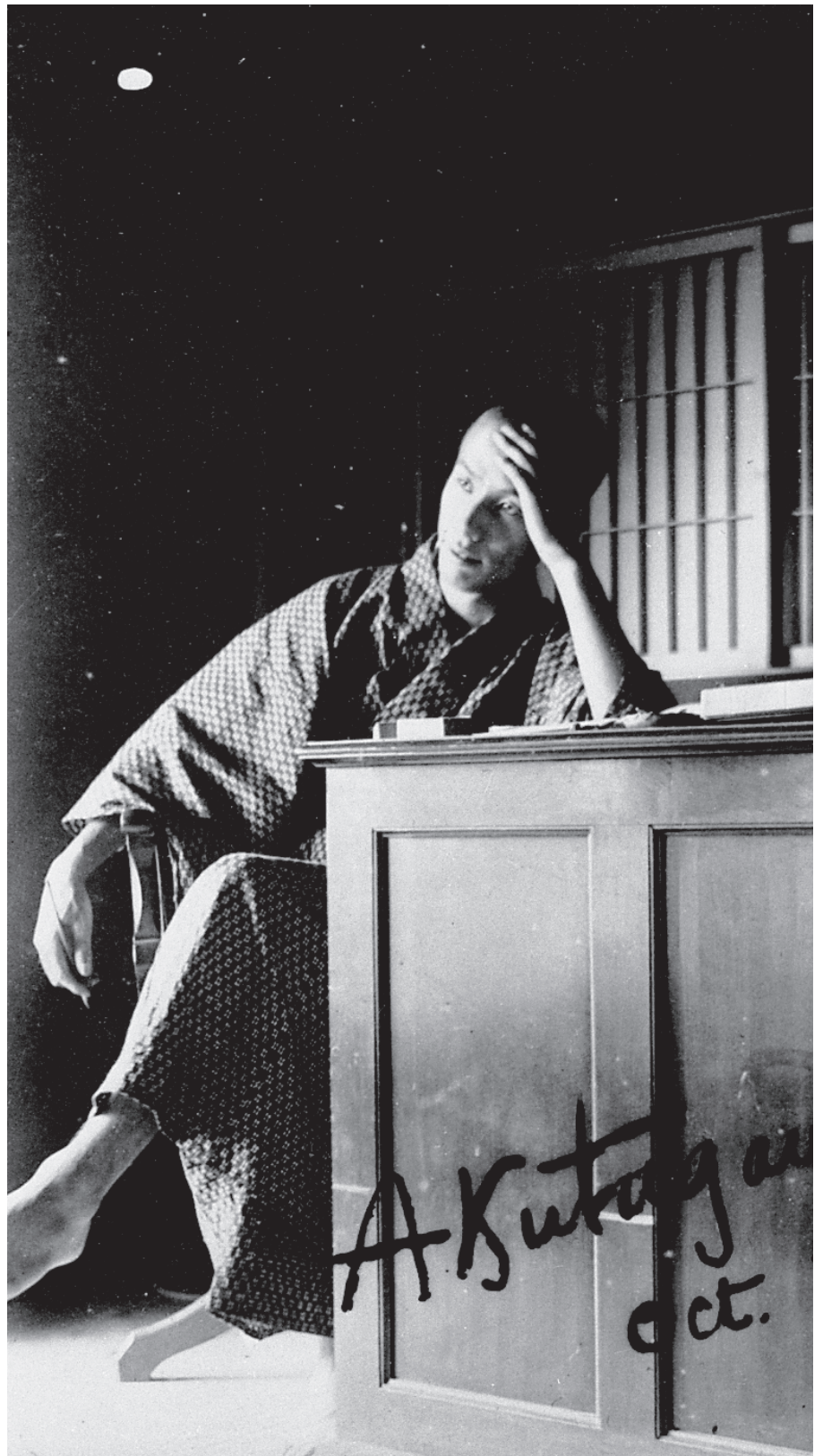
9
(土) 16

編集委員 紅野謙介・庄司達也

芥川龍之介「羅生門」とその時代

教科書のなかの文学／教室のそとの文学

二〇一七年に没後九〇年を迎えた芥川龍之介。彼の作品は今なお多くの人々に愛読されています。特に「羅生門」は現在多くの高校教科書に採用されているほか、さかんに映画や舞台・オペラ等の原作とされるなど、芥川文学の代名詞ともいえる作品です。本展では「羅生門」の成立過程のほか、「今昔物語」など、その背景についてもご紹介。文学史をふりかえりながら「羅生門」とその時代をご覧ください。



大正4(1915).10.15「羅生門」執筆のころ

開館時間◎ 9:30～16:30 (入館 16:00 まで)
休館日◎ 日曜、月曜、第4木曜 (7/27、8/24)
会場◎ 日本近代文学館 展示室
アクセス◎ 京王井の頭線「駒場東大前」下車 西口改札徒歩7分
観覧料◎ 100円



展示内容の詳細は
ホームページにて
ご覧いただけます。



2017年 開館50年

公益財団法人 日本近代文学館
THE MUSEUM OF MODERN JAPANESE LITERATURE
Komaba, TOKYO

153-0041 東京都目黒区駒場 4-3-55
(駒場公園内)

tel 03-3468-4181

<http://www.bungakukan.or.jp/>

